

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	岡山一宮高等学校			所在地	岡山市北区檜津221		
敷地面積	43,463.00 m ²			棟数	41 棟 (計画記載対象 8 棟)		
延床面積	16,453.13 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 6弱		津波 -		浸水 1.0~2.0m未満			
建築規制	市街化調整区域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)			
	711,352 kWh	4,168 m ³	9,673 m ³	670 ℓ			
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 岡山市避難所(土砂災害、洪水、津波)協定による避難場所						

1 施設内建物の概況

名称	管理棟及教室棟(1棟)1-1	教室棟(12棟)6	格技場(2棟)2
築年(西暦)	1980年	1981年	1980年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄骨造 2階
建築面積	1,598.86 m ²	858.01 m ²	378.45 m ²
延床面積	5,485.20 m ²	3,466.99 m ²	430.65 m ²
主要な用途 (室名等)	校長室 事務室 教員室	普通教室 被服教室 地歴公民教室	武道場
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	合併教室棟(26棟)1-2	教室棟(27棟)8	体育館(28棟)9
築年(西暦)	1981年	1982年	1982年
構 造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄骨造 1階
建築面積	377.31 m ²	309.29 m ²	1,471.32 m ²
延床面積	377.31 m ²	1,243.64 m ²	1,772.19 m ²
主要な用途 (室名等)	合併教室	普通教室 トレーニング室 生徒会室	体育館
主要な設備 (屋外を含む)	-	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	校舎・食堂棟(39棟)15	特別教室棟(44棟)17	
築年(西暦)	1994年	2000年	
構造	鉄骨造 3階	鉄骨造 1階	
建築面積	482.76 m ²	207.00 m ²	
延床面積	1,155.97 m ²	207.00 m ²	
主要な用途 (室名等)	食堂 研修室 体操場	実験実習室	
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	-	
利用状況	高	高	
耐震性 ※1	有	有	
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	
長期使用の適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
管理棟及教室棟(1棟) 1-1	長寿命化改修を行う。
教室棟(12棟)6	・設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。 ・長寿命化改修を行う。
格技場(2棟)2	設備等の定期更新を行う。
合併教室棟(26棟)1-2	予防保全を図る。
教室棟(27棟)8	長寿命化改修を行う。
体育館(28棟)9	設備等の定期更新を行う。
校舎・食堂棟(39棟)15	予防保全を図る。
特別教室棟(44棟)17	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(1棟)2020年度以降設計・施工
(12棟、27棟)2024年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
管理棟及教室棟(1棟)1-1	長寿命化改修				設計・施工 8						
教室棟(12棟)6	設備等の定期更新				トイレ洋式化				トイレ改修 1		
	長寿命化改修								設計・施工 4		
格技場(2棟)2	設備等の定期更新								照明LED化		
合併教室棟(26棟)1-2	予防保全		予防保全を図る。								
教室棟(27棟)8	長寿命化改修								設計・施工 1		
体育館(28棟)9	設備等の定期更新								照明LED化		
校舎・食堂棟(39棟)15	予防保全		予防保全を図る。								
特別教室棟(44棟)17	予防保全		予防保全を図る。								

4. 概算費用

総額 14億円(長寿命化改修)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R2.3	教室棟(12棟)において、設備等の定期更新を追加
R5.3	教室棟(12棟)において、設備等の定期更新を追加
R6.3	格技場(2棟)及び体育館(28棟)において、設備等の定期更新を追加